二つの老人クラブ誕生

四月一日付けで新しい老人クラブ二つが誕生し、市内の老人クラブ総数は六十となりました。

産声をあげたのは、内沼第一老人クラブ（会員数五十三人）と、早通北若葉会（会員数四十六人）で、初代会長はそれぞれ鈴木逢衛さん（内沼）岡本善二さん（早通北三丁目）です。

市内六十の老人クラブの会員数を合計すると三千六百九十七人（男一千四百九人、女二千二百八十八人）で、市の総人口の八・九％に当たります。特に女性は一〇・八％、十人に一人は老人クラブ会員という高い割合となっています。

市民登山に72歳の岡田さん

恒例の市民登山が、五月二十七日（日）に行われました。

今年は下田村の栗が岳（一、二九三㍍）で、参加者は四十五人でした。

参加者中の最高齢は、高森新田の岡田岡造さん七十二歳で、若くて元気なものでした。

長浦で親子ドッジボール大会

長浦地区公民館では、自治会と福祉協議会長浦支会の応援を得て、六月三日に親子ドッジボール大会を開きました。

一チームは、母親五人に小学校四年以上（男女不問）五人の計十人編成です。

大会には、八チームが参加して、四位までのチームは次のとおりでした。

①里飯野　②上堀田　③大月　④岡新田

なお、この日は、親子ソフトボール大会を開く予定でしたが、雨のためドッジボール大会に変更したものです。

市民講座 三百五十人が参加

中央公民館や各地区公民館で、学習講座が始まりました。

書道や楽焼き、料理、デッサン、手芸など、十一の講座が開かれ、三百五十人ほどの人が参加して、それぞれの講座を楽しんでいます。

地区公民館では、年度の後半に始まる講座もありますので、余暇の利用などに活用してください。

▲ なかなか竹が自由にならない中央公民館の竹細工教室

鉛筆から木炭に持ちかえた木崎公民館のデッサン教室 ▶

▼ 生活にゆとりと潤いをと、岡方公民館の生け花教室

自治会長連合会総会 役員選出・勧続者を表彰

市の自治会長連合会総会が六月十八日に中央公民館で開かれ、五十四年度の役員や事業計画を決定しました。また五年勤続の自治会長が、市長から表彰されました。

連合会の会長、副会長と市長から表彰された人は、次のとおりです。

○自治会長連合会役員

会長＝嘉藤嘉雄（長戸）

副会長＝横山和平（下大口）　秋山仁平次（浦ノ入）　岡田静司（高森新田）　渡辺芳男（早通南一）

○五年勤続で市長から表彰された自治会長

渡辺勝（中嘉山団地）　山本実（東栄町第一）　原澄男（太子堂）　岡田静司（高森新田）　相沢補次（岡新田）　野崎敏雄（里飯野）　内山市三郎（川前）　石山兵吉（新井郷）　斉藤誠一（稲荷浦）

〝新仏伝〟自治会誕生

五月十六日、早通自治会から仏伝地内の十戸が分離して新仏伝自治会が発足しました。初代自治会長は、泉田政敏さん。これで、市内の自治会数は百二十六となりました。

（豊栄広報四月二十日号の市内の自治会数百二十九は百二十五の誤りでした。おわびして訂正いたします）

福祉協議会 木崎支会が発足

豊栄市社会福祉協議会の木崎支会が発足し、会長に木村文泰さん（尾山）が就任しました。会員は、七百九十人ほどです。

なお、木崎支会の発足によって、支会は長浦、岡方を合わせて三支会ができました。

園児の遊び場に山林開放
―横土居保育園の関係者―

横土居地区周辺は、東工業港の背後地や新新バイパス、東港浄水場の進出などで、最近では、子供たちの遊び場がなくなってきています。横土居保育園も園庭が大きくなく園児の屋外遊びが限定され、関係者は何かよい方法はないかと、その対策に苦慮してきました。

その結果、横土居保育園裏の山林を子供たちに開放しては――という声があがり、山林所有者（笹山の田村九之助、川崎精一郎の両氏）に相談したところ、快く応じてくれたものです。早速、四月三十日横土居保育園関係者（横土居、浦ノ入、笹山、笠柳の自治会長、バス運営委員、母の会、保母ら）約百人が参加し、荒れている雑木林（約二千五百平方メートル）を、きれいにしてくれました。大きな松の木やわらびなど、自然に恵まれたこの山林は、絶好の遊び場であり、古い自動車なども置かれています。とりあえず、保育園児に開放し、今後は、地区の子供たちに開放するとのことで、すべり台、ブランコ、ジャングルジムなどの遊具も備えるということです。

・さわやかな季節の中、山林所有者や父母の協力で絶好の遊び場となった雑木林。

ありがとうございました

○社会福祉事務所へ

護山孝舜さん（五月六日死亡、大迎）の遺族が、故人の療養中の見舞金の一部を福祉基金として

二〇〇、〇〇〇円

このほかに見舞いにいただいた品（かん詰め、ジュースなど）を寄付。

小熊善二さん（森下）はねたきり老人特殊ベッドを借りたお礼として

一〇、〇〇〇円

羽田野千代次さん（日本リュウマチ友の会新潟県支部長・早通北五丁目）は、社会福祉募金として

五〇、〇〇〇円

○市へ

後藤由孝さん（新井郷）枝垂柳（二～三㍍）四十本

川西地内の葛塚南線歩道に植樹。

○中央公民館へ

石田葛五郎さん（一日楽焼教室講師、南蒲田上町）花器（土羽田焼）一

生活のためのモニター
苦情も受け付けます

消費生活モニターなどが、委嘱されました。

この人たちは、消費生活についての調査や提言などをする人です。このうち、新潟県消費生活改善推進員と国の消費生活改善監視員は、消費者からの相談や苦情を受け付けて、関係機関へ取り次いだりします。気軽に申し出てください。

▽豊栄市消費生活モニター
長谷川和子（東栄町一）
小島マサヲ（白新町四）
酒井トシ（笹山）
徳吉美代子（早通南一）
太田百合子（浦木）
藤田澄子（太子堂）
（任期は55年4月まで）

▽新潟県消費生活改善推進員
渡辺民子（白新町四　電話六一九六四七）
菊入マツエ（早通南二　電話六一四六〇六）
（任期は56年3月まで）

▽新潟県生活関連物資民間調査員
山崎サツ子（白新町二）
（任期は55年4月まで）

▽新潟県標準食肉販売店巡視モニター
細川静江（白新町三）
（任期は55年3月まで）

▽国の消費生活改善監視員
山本ミヨシ（若松町　電話七一三八〇三）
（任期は55年3月まで）

校章めぐり
(5)葛塚東小学校

葛塚東小学校（片岡源三郎校長、児童数七百四十人、職員三十六人）

校章の由来

わが校は、昭和五十一年四月一日創設された新しい学校である。創設後、早速、シンボルである校章が必要となり当時、教育委員会におられた山田憲男先生（現在、岩船郡中継小教頭）に図案化をお願いした。

明るい校舎で学ぶ、健康でねばり強い子供を象徴するという難しい注文である。快く引き受けてくれた先生は苦心の結果、三つの校章を示してくれた。どれも、捨てがたい格調のあるものだったがPTAの役員会で、子供たちにも、よくわかるということで、現在のものが採用になった。

越後路の自然の厳しさを表す雪の結晶の内側に、葛の葉をあしらい、中央に読みやすい東という字を入れたのが、本校の校章である。（片岡校長記）